

2022 spring

ライスボールセミナー

“大学ではどんな研究をしているの？”

ライスボールセミナーは、お昼休みに若手研究者による研究発表を聞き自由にディスカッションを楽しめるオンラインセミナーです。
学生でも教職員でも気軽に参加してみてください♪

【時 間】 木曜日 12:20～12:50

【参加費】 無料 事前申込制（開始時間まで申込可）

参加特典♪

- ・参加申込 → 視聴 → 視聴後アンケート入力で後日立命館生協カードへ**300円**チャージ！
 - ・全キャンパス全店舗使用可
 - ・使用期限はカード脱退時まで有効
- ※参加特典の対象は本学学生と院生のみ

5.12

規格化された都市霊園はいかに意味づけられたか？



衣笠総合研究機構 専門研究員 辻井 敦大

<https://bit.ly/3HWP67g>

5.26

東アジア諸国からみた沖縄返還



衣笠総合研究機構 助教 成田 千尋

<https://bit.ly/3Cv8mYf>

6. 9

近世日本の儒教と葬制



衣笠総合研究機構 専門研究員 松川 雅信

<https://bit.ly/3pOF0PF>

6.23

秦始皇帝の情報革命 — 「統一」の舞台裏—



衣笠総合研究機構 専門研究員 畑野 吉則

<https://bit.ly/3HPWFrFr>



【共 催】 衣笠総合研究機構 / 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)
【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL : 075-465-8224



https://twitter.com/Rits_ResearchPR



<https://www.facebook.com/riceballseminar>

5.12

規格化された都市霊園はいかに意味づけられたか？

衣笠総合研究機構 専門研究員 辻井 敦大



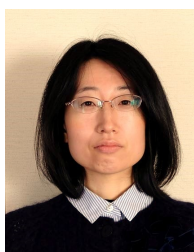
■研究内容

墓は、伝統家族としての「家」のシンボルとみなされてきました。私は、戦後日本を対象に「家」が変化するなかで、いかなる論理から墓が建立され、その継承の断絶が憂慮されているのかを研究しています。

5.26

東アジア諸国からみた沖縄返還

衣笠総合研究機構 助教 成田 千尋



■研究内容

沖縄の基地問題は、朝鮮半島の南北の対立や中国と台湾の対立とも密接な関係があります。このため、米国統治下の沖縄の状況に加え、韓国政府、台湾（中華民国）政府が沖縄をどう見ていたかについても研究しています。

6.9

近世日本の儒教と葬制

衣笠総合研究機構 専門研究員 松川 雅信



■研究内容

近世（江戸期）は「儒教が広まった時代」と言われることがあります。では、それはどのような領域にいかなる形で広まったのでしょうか。儒教とは一見無関係に思える近世の葬制に注目することで、考えてみましょう。

6.23

秦始皇帝の情報革命 — 「統一」の舞台裏 —

衣笠総合研究機構 専門研究員 畑野 吉則



■研究内容

中国古代は、合理的な情報システムを採用していました。私の研究では、当時使用された簡牘（かんとく）という木版に遺された断片的な情報を手掛かりに、史書に描かれることのない情報システムの復元を試みています。